



ハヤシさんと地元の高校生が共同制作した作品(左奥と右)などが並ぶ丸山晩霞記念館

東信の高校生と作家がコラボ

東御の「シンビズム2」会場 共同作品展示

県内4カ所の美術館で開催中の展覧会「シンビズム2 信州ミュージアム・ネットワーク」が選んだ20人の作家たち「東信会場の丸山晩霞記念館(東御市)は、地元の高校生と作家が共同制作した作品を展示している。

小海町で創作活動をしたことがあるヨシミ・ハヤシさん(米国在住)と、同町の小海高校、東御市の東御清翔高校の美術部の生徒計16人は、二つのパーツで構成された作品を制作した。一つは、ハヤシさんが模様のように書き連ねた英文を一部だけ消して、空白をハッ印として浮かび上がらせた黒板。もう一つは、生徒たちが地域の姿や色を絵で

表現したベニヤ板を組み合わせて作った空白部分と同じ大きさのハッ印だ。

小海町高原美術館の担当学芸員によると、ハヤシさんは創作する上で、作品に地域性を取り入れることや、制作過程そのものを重視し、今回は地元の高校生に協力を依頼した。3者は別々に作業を進め、会場で初めて一つの作品を完成させる技法を取った。

丸山晩霞記念館では24日までの会期中、ハヤシさんの他に千曲市の越ちひろさん、長野市育ちの山上渡さん、坂城町出身の西沢千晴さん、軽井沢町の上田謙二さんの作品計約60点を展示している。